

別紙 5

【薬効分類】 2 4 9 その他のホルモン剤

【医薬品名】 ミトタン

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行			改訂案		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） スピロノラクトン、ペントバルビタール、ドラビリン、エンシトレルビルフマル酸、レナカパビルを投与中の患者			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） スピロノラクトン、ペントバルビタール、 <u>エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、ダルナビル エタノール付加物・コビシスタット、ダルナビル エタノール付加物・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、</u> ドラビリン、 <u>ドルテグラビルナトリウム・リルピビルン塩酸塩、ビクテグラビルナトリウム・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、リルピビルン、リルピビルン塩酸塩、リルピビルン塩酸塩・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、</u> エンシトレルビルフマル酸、レナカパビルを投与中の患者		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ドラビリン エンシトレルビルフマル酸	これらの薬剤の血中濃度が低下し、作用	本剤の肝チトローム P-450	<u>エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビ</u>	これらの薬剤の血中濃度が低下し、作用	本剤の肝チトローム P-450

レナカパビル	が減弱するおそれがある。	(CYP3A4)誘導作用により、これらの薬剤の代謝が促進されると考えられる。	<u>ン・テノホビル アラフェ</u> <u>ナミドフマル酸塩</u> <u>ダルナビル エタノール付</u> <u>加物・コビシスタット</u> <u>ダルナビル エタノール付</u> <u>加物・コビシスタット・エム</u> <u>トリシタビン・テノホビル</u> <u>アラフェナミドフマル酸塩</u> <u>ドラビリン</u> <u>ドルテグラビルナトリウ</u> <u>ム・リルピビリン塩酸塩</u> <u>ビクテグラビルナトリウ</u> <u>ム・エムトリシタビン・テノ</u> <u>ホビル アラフェナミドフ</u> <u>マル酸塩</u> <u>リルピビリン</u> <u>リルピビリン塩酸塩</u> <u>リルピビリン塩酸塩・エム</u> <u>トリシタビン・テノホビル</u> <u>アラフェナミドフマル酸塩</u> <u>エンシトレルビルフマル酸</u> <u>レナカパビル</u>	が減弱するおそれがある。	(CYP3A4)誘導作用により、これらの薬剤の代謝が促進されると考えられる。
--------	--------------	--	---	--------------	--